

研究課題名	新生児のAcute Phase Reactant Scoreの在胎週数別の基準値の作成
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 新生児内科 氏名 草苺 倫子
研究期間	2024年本申請の許可を得た月 ～ 2024年9月
研究の意義・目的	Acute Phase Reactant (APR)の中で、感染時に上昇する物質の中で、変動が特に大きいタンパク質のうち、C-reactive protein (CRP)、 $\alpha$ 1-acid glycoprotein (AGP)およびHaptoglobin (Hp)の3つに着目して、その陽性に対してスコアリングすることで、新生児感染症の有無を判定する、APR scoreが現在保険医療として認められた臨床検査として確立されている。現在のAPR scoreは体重別に基準値が作成されている。体重で区別されたためにAPRsの産生される肝臓の成熟度が考慮されていない。そこで、我々は当院に入院した児で、在胎週数別のAPR scoreの作成を試み、児の成熟度に合わせた感染症の評価の確立を計画した。
研究の方法 (対象期間含む)	当院でAPR scoreが測定可能となった2021年5月1日から2024年3月31までの34か月間で、当院で出生してNICUに入院した児でAPR scoreを測定したものを対象とした。CRP、AGP、およびHpのAPRを同時に測定したデータを電子カルテより抽出する。患者情報として、在胎週数、出生時体重、性別、主たる疾患名を抽出する。
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	①本研究に関わる全ての研究者は、「ヘルシンキ宣言」および「人と対象とする生命科学・医学的研究に関する倫理方針」を遵守して実施する。 研究実施に係る情報を取り扱う際は、研究独自の番号を付して管理し、研究対象者の秘密保護に十分配慮する。併せて研究独自の番号と研究対象者の個人情報との対応表を作成して保管する。研究の結果を報告する際は、氏名、生年月日などの直ちに研究対象者を特定できる情報を含まないようにする。また、研究の目的以外に、研究で得られた研究対象者の情報を使用しない。 ②在胎週数、出生体重、性別、血液ガス分析結果 ③研究責任者、研究分担者 ④武蔵野赤十字病院 新生児内科 中村利彦
問合せ先	当研究に自分の情報利用を停止する場合等のお問い合わせ  〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 新生児内科 氏名 草苺倫子  TEL : 0422-32-3111 (代表) 8195 (内線) FAX : 0422-32-3525